

談話と音声 — 音声の研究と日本語教育 —

神戸大学文学部
窪園晴夫
kubozono@lit.kobe-u.ac.jp
2006/07/08@早稲田大学

Road Map

1. 言語(日本語)研究と語学(日本語)教育
2. 日本語学習者の音声とその言語学的背景
・江戸文学 エロ文学
3. あいまい文のプロソディー: 談話と音声
・可愛い子には旅をさせよ
・今日はパンツはいてくれればよかった

1. 言語研究と語学教育(L2)

- 昔: 言語研究(対照研究)
L2の研究(誤用分析)
cf. 寺村秀夫先生
- 今: L2の研究 言語研究
(言語獲得L1の研究、言語の普遍性)
 - ・促音(っ)、撥音(ん)の獲得
 - ・アクセントの獲得

2. 日本語学習者の日本語

- 分節音
母音、子音
- プロソディー
リズム、アクセント、イントネーション
ポーズ

清濁の区別

- 韓国語話者、中国語話者
もっと**痴漢**がほしい、監**獄**へ行く
もっと**時間**がほしい、韓**国**へ行く
- 語頭は清音(g k)、語中は濁音(k g)
- 昔の日本語: 濁音は語頭に立たない
かめーうみ**が**め
cf. 様を見ろ、ざらざら、**ダ**マ
- 言語一般: 濁音(b,d,g,z)は語中で生じる
- 英語: fifteen—five

/d/と/r/の混同

- (中国語話者)
私の専門はエロ文学です。(edo vs. ero)
- [d] 歯茎有声閉鎖音 vs. [r] 歯茎有声弾音
- 英語 日本語: pud**d**ing プ**リ**ン、wa**t**er **ワ**ラ、
shu**t** up シャ**ラ**ップ
- 赤ちゃん: う**ろ**ん(d r)、**ダ**ーメン(r d)
- 方言: う**ろ**ん屋[福岡]、しん**ど**い(辛労)[大阪]
- 昔の日本語、今の韓国語: *#r... (ラ行音は語頭に
来ない)
- タガログ語: #d...r...#, *#r...d...#

/m/と/b/、/n/と/d/の混同

- 韓国語話者: [m] [b], [n] [d]
それは無理です、私の娘、塵訶不思議
それはプリです、私のブスめ、馬鹿不思議
- [m], [n]鼻(腔閉鎖)音 vs. [b],[d](口腔)閉鎖音
- 中国語(漢語): 浩美(m) - 美人(b), 桂馬(m) - 競馬(b), 文部省(m) - 文学(b), 無人(m) - 無礼(b), 来日(n) - 過日(d), 老若男女(ny,n,ny) - 若干(dy), 男女(d,zy)
- 日本語: 寂しい(さびしい) ~ さみしい, 野良猫 ~ ドラ猫

7

アクセントの問題(1)

- アクセント型: 特に平板型
- 東京(とうきょう)、大阪(おおさか)、アメリカ 韓国(かんこく)、中国(ちゅうごく)
- 韓国語(かんこくご、*かんこくご、かんこくご)
中国語(ちゅうごくご、*ちゅうごくご、ちゅうごくご)
えいご、スワヒリ語、アメリカ語、イラン語
cf. 松平(まつだいら)、赤とんぼ(あかとんぼ)
東大寺(とうだいじ)

8

アクセントの問題(2)

- 複合語アクセント: phrasing
神戸(こうべ)、京都(きょうと)、
大学(だいがく) [平板型]
神戸大学(こうべだいがく)
*(こうべ)(だいがく)
京都大学(きょうとだいがく)
*(きょうと)(だいがく)

9

イントネーションの問題

- 疑問のイントネーション
- 明日いらっしゃいますか?
- 中国語話者の日本語
- 鹿児島方言: 見る。vs. 見る?
- 名古屋方言: あの誰え?

10

談話

- 『大辞林』(三省堂)
(言語学)文より大きい言語単位で、あるまとまりをもって展開した文の集合。
- 『新版 日本語教育事典』(大修館)
・ 一文を超えた何らかの意味的なまとまりをもった結束性のある文の集まりのこと。話しことばにおいては会話(conversation)、書きことばにおいてはテキスト(text)を指し...
・ 近年、「談話」という場合には、話し手と聞き手の関係による相互行為に注目した実際の会話、話しことばを指すことが多くなっている。

11

暑いですね

- (天気予報) 気温が高い。
- (先生) 窓、開けて。
- (喫茶店のお客) クーラー入れて。
- (大阪のおばさん)
サイダーぐらい出さんかいや。
- 言外の意味: 「文」の意味は文脈(コンテキスト、談話)で決まる。

12

3. あいまい文のプロソディー

- 3.1 語のアクセント
 - ー(語の)アクセント型
 - ー(複合語の)アクセント句形成
- 3.2 文のイントネーション
 - ー文末詞
 - ー統語構造のあいまい性
 - ーフォーカス(焦点)



13

3.1 アクセント:アクセント型

- 構造は同じ、アクセントも同じ
ちほう老人(痴呆・老人、地方・老人)
- 構造は同じ、でもアクセントが違う
宮城さん(宮城山、宮城産、宮城さん)
あきたけん(秋田県、秋田犬)
よねんせい(四年生、四年制)
しけんかん(試験官、試験管)
まんぷくじ(満腹時、万福寺)
てんのうじ(天王寺、天王寺)



14

アクセント型(続)

- 構造が違う、でもアクセントは同じ
こぶとりじいさん(小・太り・じいさん、こぶ・取り・じいさん)
こうけいき(後継・機、好・景気)
しよけいしき(処刑・式、諸・形式)
おしょくじけん(お食事・券、汚職・事件)
やくざいしかい(薬剤師・会、やくざ・医師会)
- 構造が違う、アクセントも違う
ぶんかいせき(文化・遺跡、文・解析)
しんがっか(新・学科、神学・科)



15

アクセント句(phrasing)

- いい加減
- あの人多んな人?
いい加減な人 {いいかげん}
- 湯加減どうですか?
いい加減だ {いい}{かげん}



16

アクセント句

- 私の父は昔人間だった
{むかしにんげん} vs. {むかし}{にんげん}
- 孫悟空 {孫悟空} vs. {孫}{悟空}
- 日本舞踊・協会 {にほんぶようきょうかい}
日本・舞踊協会 {にほん}{ぶようきょうかい}
- {ドイツ文学協会} vs. {ドイツ}{文学協会}
- {国民性調査} vs. {国民}{性調査}
- 規則:意味が切れるところで発音も切れる。



17

3.2 イントネーション

- 文末詞のイントネーション
 - ・ごかいですよ
 - ・来ないのよ
- 統語構造のあいまい性
 - ・父は死んでいません。
- フォーカスとイントネーション
 - ・ただの水
 - ・ちゃんと座りなさい



18

文末詞のイントネーション

- 五階ですよ (ごかいですよ)
- 誤解ですよ (ごかいですよ)
- 来ないのよ (こないのよ)
- 来ないのよ (こないのよ)
- 来るかな (くるかな)
- 来るかな (くるかなあ)↘

『文法と音声』 ~ (くろしお出版)

19

統語構造のあいまい性

- 父は死んでいません。
- 父はもう死んでいません。
父は(死んで)(いません)。
- 父はまだ死んでいません。
父は(死んでいません)。

- **規則: 意味的に切れたら次を高く発音。**

20

あいまい文

- 太郎と次郎の妹
- 青い縞のシャツ
- 図書館にある本を運んだ。
- 警官は血みどろになって逃げる犯人を追いかけた。
- 太郎は次郎より花子を愛している。
- トーゴにとって、フランスとドイツで戦うことは大きな意味がある。

21

フォーカスとイントネーション

- あなたが殺したのですか？
— 私は無実です。
- 私は無実です。 [主題の「は」]
- 私は無実です。 [対比の「は」]

- **規則: フォーカス(焦点)のある部分を強調**

22

ただの水

- これ、お酒かと思ったら
ただの水(だった)
- この水、お金取られるかと思ったら
ただの水(だった)

- **フォーカス(焦点)のある部分を強調**

23

ちゃんと座りなさい

- 走り回っていないで、
ちゃんと座りなさい。
- 椅子にだらしなく座っていないで、
ちゃんと座りなさい。

24

情けは人のためならず

- (俗) 人に情けをかけてはいけない。その人のためにならないから。
- 情けは人のため ならず
- (真) 情けをかけなさい。でもその人のためじゃなくて、自分のために。
- 情けは 人 のためならず
(vs.自分)

25

可愛い子には旅をさせよ

- (真) 可愛い子には 旅をさせよ
- (新) 可愛い子 には旅をさせよ
- (a) 可愛い子 には旅をさせよ
- (b) 可愛い子に は 旅をさせよ

26

料理じょうずじゃない

- あなた料理上手だって言ったのに、本当は じょうず じゃ ない [否定]
- あなた料理下手だと言ったのに、本当は じょうず じゃない
- 馬鹿じゃないの

27

パンツはいてくればよかった

- (スカートじゃなくて) パンツ はいてくればよかった。
- パンツ はいてくればよかった。
- 帽子 かぶって くればよかった

28

まとめ

- 日本語学習者のエラーには一般性がある。
L1 (赤ちゃんの言語獲得)、自然言語に見られる音韻過程、言語変化 (普遍性)
- プロソディー (アクセント、イントネーション) は文脈に入れて学ぶ
 - ・規則: 意味が切れるところでアクセントも切れる。
 - ・規則: 意味的に切れたら次を高く発音 (イントネーション)
 - ・規則: フォーカス (焦点) のある部分を強調

29

文献(selected)

- 窪園晴夫 (2005) 「音韻論」(中島平三編) 『言語の事典』、朝倉書店
- 窪園晴夫 (2006) 『アクセントの法則』、岩波書店。
- 田中真一・窪園晴夫 (1999) 『日本語の発音教室』、くろしお出版
- 音声文法研究会 (編) 『文法と音声』 ~ 、くろしお出版
- 日本音声学会 (2003) 『音声研究』 7巻2号、特集「音声の獲得」

30